

多くの人々に支えられ…いざ本番!

With support by many people ... Now it starts!

—卒業論文・卒業設計審査会—

—The final defense of diploma thesis and design—

2月15日(火)に行われた卒業論文・卒業設計審査会において、本研究室所属のB4四名がそれぞれの研究成果を発表しました。

The final defense of diploma thesis and design was held on 15th February, and 4 students (Asano, Endo, Tsukamoto, Matoba) gave a short presentation of his or her research. text_yamashita

今年は浅野さん・的場君が論文、そして遠藤さん・塚本君が設計において、それぞれの研究成果を発表しました。

発表では他研究室の先生方からの鋭い指摘にも動じることなく、落ち着いて堂々と自分の考えを言葉にしている姿が印象に残りました。また発表後の打ち上げには先生方も参加し、大いに盛り上がったようです。

今回はそのB4四名に、それぞれの研究について振り返ってもらいました!



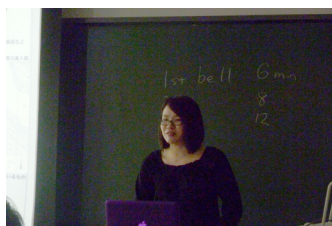
▲打ち上げでの記念撮影

五箇山合掌造り集落における持続的保全の課題と可能性 - 景観構造の読み解きを手がかりとして - 浅野 純子

世界遺産である富山県五箇山の合掌造り集落の保全策について研究しました。現地調査では美味しいご飯をいただきながら、実際に暮らす人々の生の声を聞いた事が、何よりかけがえのない経験となりました。発表が終わった今は研究にご協力いただいた方々への感謝の気持ちでいっぱいです。先生方には打ち上げにも参加していただき、ありがとうございました。阿部先生と黒瀬先生のショートコントがもう一度見たいです!



▲合掌造り集落の風景



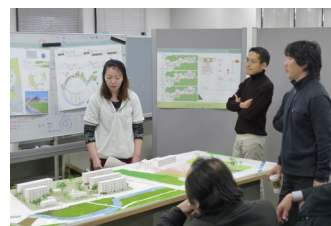
▲質疑応答に臨む B4 浅野

うち・みち・まち~もう一度茶畑に恋しよう。~ 遠藤 友里恵

先生方・院生の方々・友人・家族など、本当に多くの人に助けられて発表まで漕ぎ付けることができました。卒業制作は地元の静岡県裾野市を対象に、団地、小学校、それらをつなぐ茶畑通りの設計提案を行いました。自分でも地域に根付いた茶畑の魅力を再発見することができ、とても嬉しく思っています。自分の弱さも強さも見えた卒業設計でした。設計して良かった、それに尽きます。ありがとうございました!



▲団地再生計画の模型



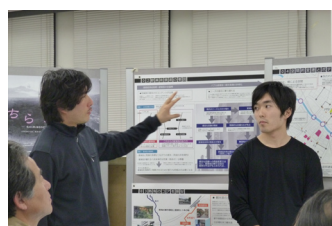
▲模型を使ってプレゼンする B4 遠藤

ち ら り ~色めく熱海をのぞきこむ~ 塚本 恭将

テーマは静岡県の熱海温泉における温泉歓楽街の再生手法の提案でした。アウトプットに持っていきまでの手順がなかなか分からず、しかもなんとなく普通ではないこのテーマに自分自身首を絞められながらも、先生方だけでなく院生の方など色々な人々の協力を得てなんとかギリギリで完成させることができました。いま冷静に振り返って本当に感謝と申し訳ない気持ちでいっぱいです。ありがとうございました!



▲橋を核とした歓楽街再生計画



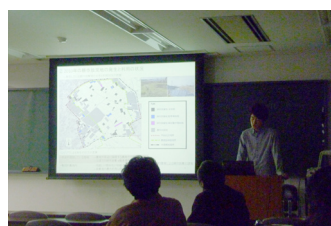
▲小泉先生から質疑を受ける B4 塚本

都市近郊の市街化調整区域内における耕作放棄地対策についての考察 - 相模原市半在家集落を事例として - 的場 弾

相模原市の農村集落を事例に、都市近郊の耕作放棄地の現状と取り巻く状況から農地利用についての問題分析を行いました。まず何より、腰の重かった自分の尻を叩き続けてくださった先生方には全く頭が上がりません。今回初めて研究に触れその難しさ楽しさを身をもって感じることができました。その中で自分の中に生まれたある種の“物差し”を、今後の研究生活でも積極的に使い、さらに更新していけたらと思います。



▲資材置き場となっている耕作放棄地



▲発表に臨む B4 的場

外神田の魅力に迫る！

— 3331 からまちあるきツアー参加体験記 —

Let's approach the charm of Soto-Kanda !

-The walking tour from 3331 Arts Chiyoda-

2月20日(日)都市デザイン研マガジン編集部一同で、アーツ千代田のイベント企画「3331 からまちあるきツアー」に参加しました。

U.D.L Magazine editorial team participated in the walking tour from 3331 Arts Chiyoda. text_yamashita



▲ 3331 アーツ千代田は旧練成中学校を改修してアーティストに表現活動の場を提供している。2月17～20日はTOKYO FRONTLINEのイベント期間で、まちあるきツアーだけでなく作品展示やトークショーなど様々な企画が行われた。



▲ 2k540は「ものづくり」をコンセプトにJR線の高架下スペースをリノベーションした商業施設で、昨年12月にオープンした。現在施設内には職人やアーティスト、デザイナーが運営する32の店々が立ち並ぶ。

▲外神田マップ



▲ 神田明神の神職のお話を熱心に聞く一同。歴史は古く、創建は奈良時代まで遡る。



▲ iPadを使って、昌平橋の古写真と今の風景を比較する。高架下の煉瓦は当時のまま変わらない。



▲ 歩行者天国は2008年の秋葉原通り魔事件以降中止されていたが、ルール作りなどを経て先月から試験的に再開した。

外神田には神田明神、湯島聖堂などの歴史的名所が点在する一方、近年ではアーティストやデザイナーなどが集まった新しい拠点も生まれています。今回外神田を歩いて感じたのは、職人、アーティスト、デザイナーなど「何か」に没頭する人々の集積が、数え切れないほど多くの接点や交流を生み、相乗効果をもたらしていること。そしてそれこそが、この街の求心力であり魅力ではないかと思いました。

プロジェクト報告



text_yasukawa

2月12日(土)13日(日)、御弓神事調査のため鞆の浦を訪問しました。御弓神事とは一年の悪鬼を射払ってその年の平穏無事を願うお祭りです。御弓神事自体は他でも見られますが、素襖(すおう)と呼ばれる武士の礼服で行うのは鞆ならではの文化です。今年所役に選ばれた方々は皆現在鞆に住んでおらず、今後の祭りの維持には外に出た人との関わり方が大切、との運営の方のお話が印象的でした。今年1年続けた祭事の調査もこれで最後。祭事とまちの関係をもう一度考え直しながらまとめていきたいです。



▲前日の先参りで当番町に行く行列



▲素襖を纏い弓を放つ弓主

Information



Call for papers

APSA2011

論文梗概提出〆切 3月31日

皆様奮ってご参加ください！

詳細は <http://www.apsa2011.org/> をご覧ください

3月の予定

3月3日 研究室大掃除

3月12日 鞆PJ現地報告会

3月23日 足助PJ現地報告会

3月24日 平成22年度東京大学学位記授与式&追いコン

★ 編集後記

山下 航司

論文発表も終わり、あとは修了式を待つのみ。迫り来る社会人生活に期待と若干の不安を感じつつ過ごす毎日です。2年冬から通い入れた本郷キャンパスもあと少しでお別れ。思えばキャンパス周辺をゆっくり見ることがなかったなあ…とつい先日本郷界隈を散策してきました。歩いてみると、小洒落ているけれどどこか物憂げな喫茶店や、野良猫の集団屋敷スポットなど新しい発見ばかり。一見普通の住宅街の中にも癒しの空間がしっかり息づいていました。社会人になっても、せわしない日々をつかの間の休息を求めに時々訪れてみようかと思っています。